

4 各公園の基本計画

(1) 静岡県草薙総合運動場

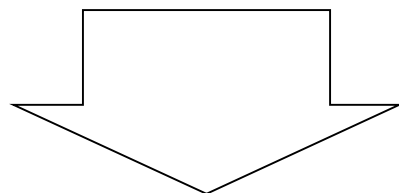
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

県中部地域のスポーツの拠点となるとともに、その立地、歴史を踏まえ、全県レベルの利用も視野に入れ、地域や利用者が交流できる場としての公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

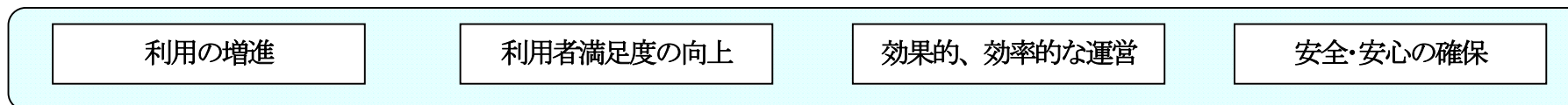
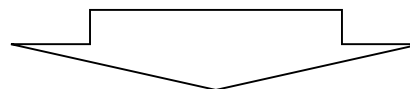
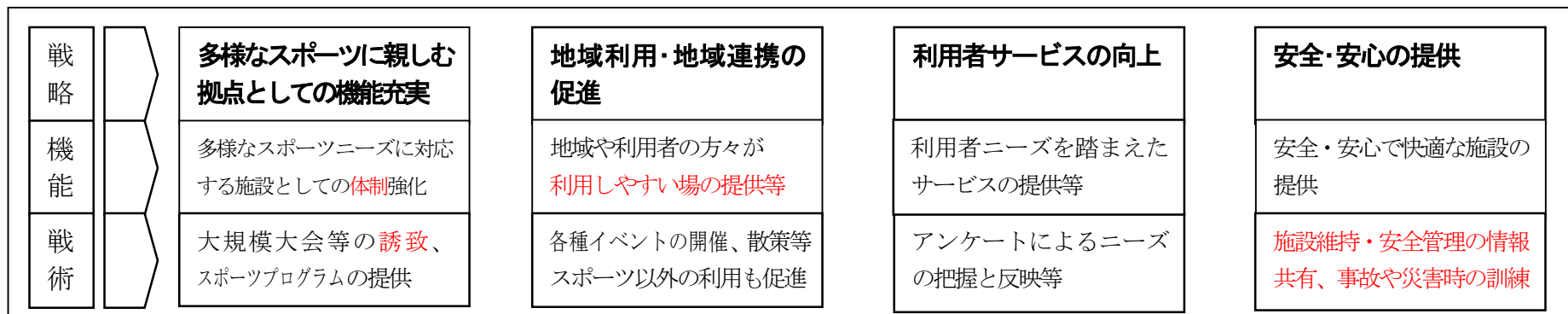
- 野球場やこのはなアリーナなど運動施設を活用してスポーツ振興、地域振興の役割を果たす。
- 県中部地域を代表する競技施設、また、小笠山総合運動公園にない施設については、引き続き県の主格となる施設としての役割を果たす。
- 市街地の中の憩いの場としての役割を果たす。



<経営努力目標:2028年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:92.4万人(うち有料公園施設利用者数79.8万人)
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点):4.3
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開



③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 多様なスポーツに親しむ 拠点としての機能充実	多様なスポーツニーズに対応する施設としての体制強化	プロ野球公式戦、全国大会、イベントの誘致
		県大会等県全体や中部地区の大会・イベント等の誘致
		スポーツプログラムの提供及びスポーツイベントの開催 (生涯スポーツ、パラスポーツも推進)
戦略2 地域利用、地域連携の促進	地域や利用者の方々が利用しやすい場の提供	文化イベント等のスポーツ以外の各種イベントの誘致・開催
		健康増進・レクリエーションの場としての活用（生涯スポーツ、パラスポーツの推進）
		一般利用者のための散策エリア等緑地空間の提供（モデルコースや見どころ等を紹介）
	地域との連携・協働	ボランティア活動の場の提供とボランティアの公園運営への積極的活用 行政・教育機関・民間、周辺施設等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の増加)
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	公園の魅力発信とイベント情報の提供（新たな広報手段等も活用）
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心を提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を優先した施設の維持管理
		長寿命化の観点からの維持補修
		施設維持・安全管理の情報共有、事故や災害時の訓練 マニュアル整備、研修・訓練の実施、防災拠点であることの周知及び機能の確保
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、 インクルーシブ（多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる）な 空間の創出

(2) 遠州灘海浜公園

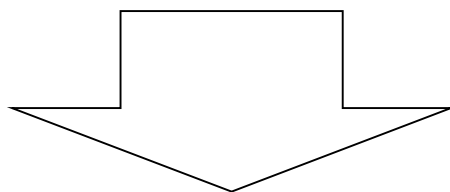
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

県西部地域における県民のスポーツ・レクリエーション需要に対応し、また、野鳥観察園等自然環境を生かした環境学習の場としての公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

- 県西部地域の代表的な球技場としての役割を果たす。
- 野鳥観察など自然とのふれあいを楽しむ機会を提供する。



<経営努力目標:2028年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:11.8万人 (うち有料公園施設利用者数 3.3万人)
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点) :4.5
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開

戦略	機能	戦略	スポーツに親しみ自然に学ぶ場の提供	地域利用・地域連携の促進	利用者サービスの向上	安全・安心の提供
			スポーツに親しむ場の提供、自然に学ぶ場の提供	地域利用の場の提供、地域との連携・協働	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供等	安全・安心で快適な施設の提供
			スポーツイベントや自然観察プログラムの提供等	快適な園地(芝生広場・遊具広場等)の提供等	アンケートによるニーズの把握と反映等	施設維持・安全管理の情報共有、事故や災害時の訓練



利用の増進	利用者満足度の向上	効果的、効率的な運営	安全・安心の確保
-------	-----------	------------	----------

③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 スポーツに親しみ自然に 学ぶ場の提供	スポーツに親しむ場の提供	スポーツイベントやスポーツプログラムの提供 (生涯スポーツ、 パラスポーツ の推進)
	自然に学ぶ場の提供	自然観察、環境学習等のプログラムの提供
戦略2 地域利用、地域連携の促進	地域利用の場の提供	快適な園地（芝生広場・遊具広場等）の提供
		文化イベント等のスポーツ以外の 各種イベント の誘致・開催
	地域との連携・協働	ボランティア活動の場の提供とボランティアの公園運営への積極的活用 行政・教育機関・民間、周辺施設等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の増加)
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	公園の魅力発信とイベント情報の提供（新たな広報手段等も活用）
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心を提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を優先した施設の維持管理
		長寿命化の観点からの維持補修
		マニュアル整備、研修・訓練の実施
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、インクルーシブ（多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる）な空間の創出

(3) 愛鷹広域公園

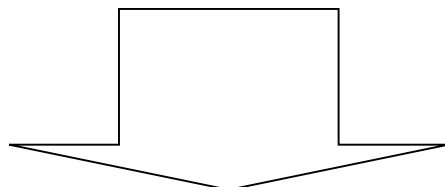
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

県東部地域を代表する野球場、多目的競技場を有し、当地域のスポーツの拠点となる公園として、また、自然と親しむ場としての公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

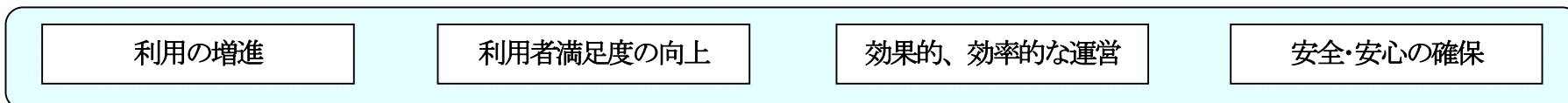
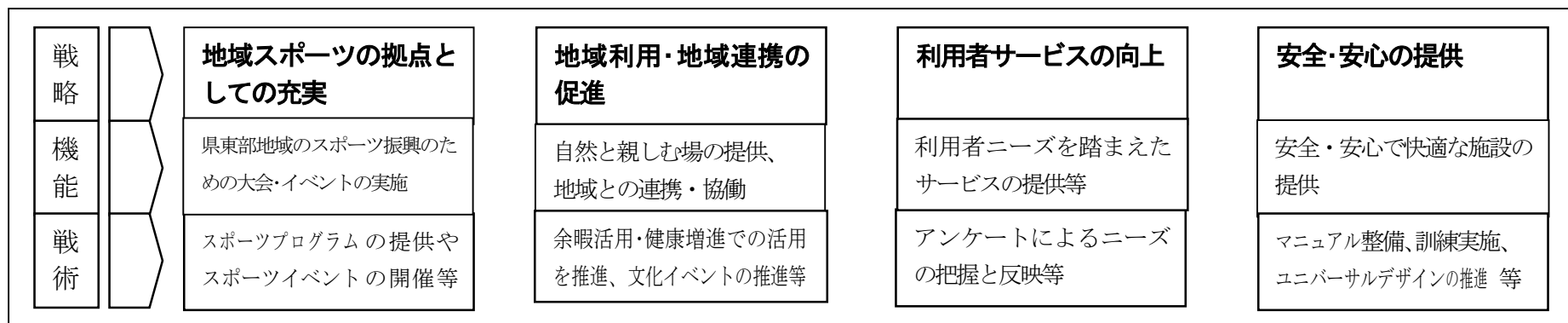
- 県東部地域のスポーツの拠点としての役割を果たす。
- 公園内の自然環境を生かした活動により、環境保全・環境学習の場を提供する。



<経営努力目標:2028年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:28.4万人(うち有料公園施設利用者数 23万人)
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点):4.4
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開



③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 地域スポーツの拠点としての 充実	県東部地域のスポーツ振興のための大会・イベントの実施	県東部地区等定番大会・イベント等の開催
		スポーツプログラムの提供及びスポーツイベントの開催 (生涯スポーツ、 パラスポーツの推進)
戦略2 地域利用、地域連携の促進	自然と親しむ場の提供	余暇活用・健康増進での活用を推進
		自然と親しむイベント、自然観察プログラム等の提供
	地域との連携・協働	文化イベントや健康づくりなどを通じた賑わいやコミュニティーの創出
		ボランテア活動の場の提供とボランテアの公園運営への積極的活用 行政・教育機関・民間、周辺施設等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の増加)
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	公園の魅力発信とイベント情報の提供 (新たな広報手段等も活用)
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心の提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を優先した施設の維持管理
		長寿命化の観点からの維持補修
		マニュアル整備、研修・訓練の実施、防災拠点であることの周知及び機能の確保
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、インクルーシブ (多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる) な空間の創出

(4) 静岡県富士山こどもの国

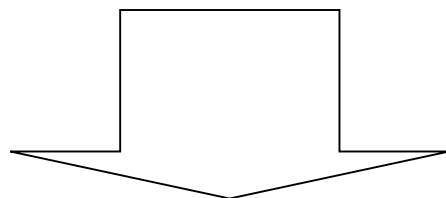
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

次代を担う子ども達が、富士山麓の雄大な自然の中で、友達や家族と元気にのびのびと遊ぶことを通じて、生命の尊さや自然の豊かさを学び、夢や冒険心を育むことができる場として、**また、広い世代を対象として地域活動を活かした利用者の交流できる場**としての公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

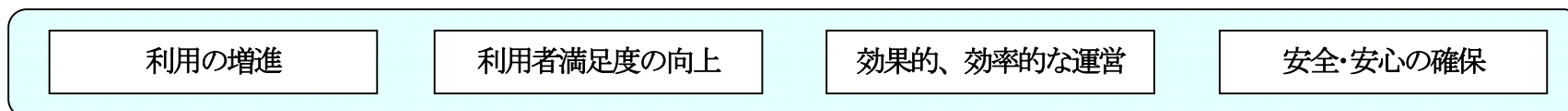
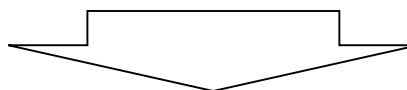
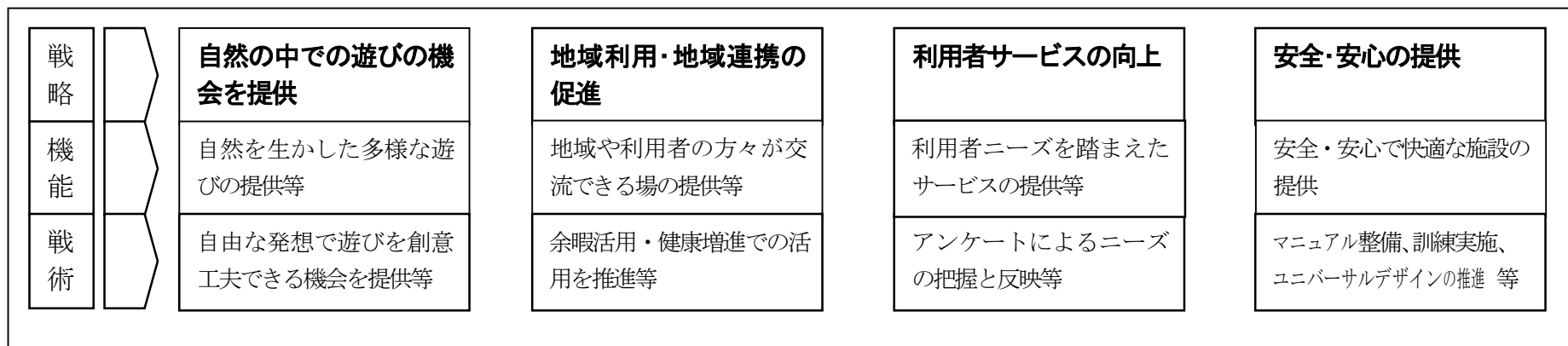
- 全県の子ども達や幅広い世代の人達に対し、地域の人材や団体が培った知識や経験を活用し、創造性が発揮できる自然の中の魅力ある遊び場や多彩なイベント、プログラムなどを提供するとともに、恵まれた自然環境を生かし、環境学習の拠点を目指す。
- 公園の利用・PRを通じて富士山の魅力を全国に発信する。



<経営努力目標: 2028年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数: **23.2** 万人
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点) : **4.5**
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開



③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 自然の中での遊び・体験の機会を提供	自然を生かした多様な遊び、夢や冒険心を育む遊び場の提供	自由な発想で遊びを創意工夫できる機会を提供
		四季折々の自然を取り入れた遊びを実施・紹介
		自然や公園の特徴を生かしたイベントを 広い世代を対象 に開催
		宿泊利用者や海外インバウンド利用者の利用推進
	生命の尊さや自然の豊かさを学ぶ場の提供	自然のすばらしさ、大切さを体験する場を提供
		動物達とのふれあい体験の場を提供
自然と親しむイベント、自然観察プログラム等の提供		
戦略2 地域利用、地域連携の促進	地域や利用者の方々が交流できる場の提供	余暇活用・健康増進での活用を推進
	地域との連携・協働	ボランティア活動の場の提供とボランティアの公園運営への積極的活用
		行政・教育機関・民間、周辺施設等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に複数回利用者の増加)
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	情報を求めている人に、公園の魅力発信とイベント情報の提供ができるよう利用者等の分析も含め、新たな広報手段等も活用する
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心の提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を優先した施設の維持管理
		長寿命化の観点からの維持補修
		マニュアル整備、研修・訓練の実施
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、インクルーシブ（多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる）な空間の創出

(5) 小笠山総合運動公園

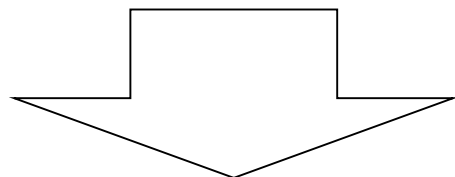
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

サッカーやラグビーのワールドカップを開催したトップレベルの競技施設を活かして、「本県スポーツの**主役**」とするとともに、健康づくり、文化・レクリエーション及び自然と親しむ場としての公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

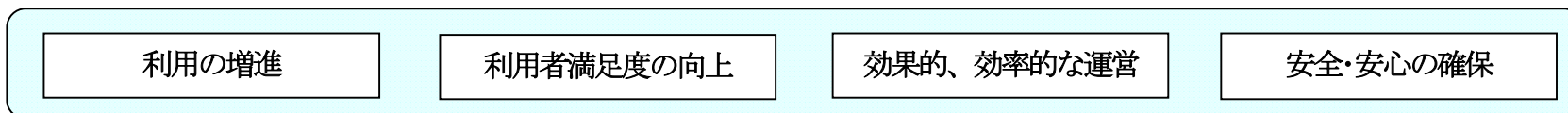
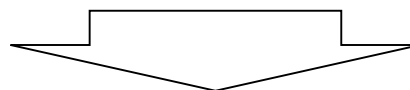
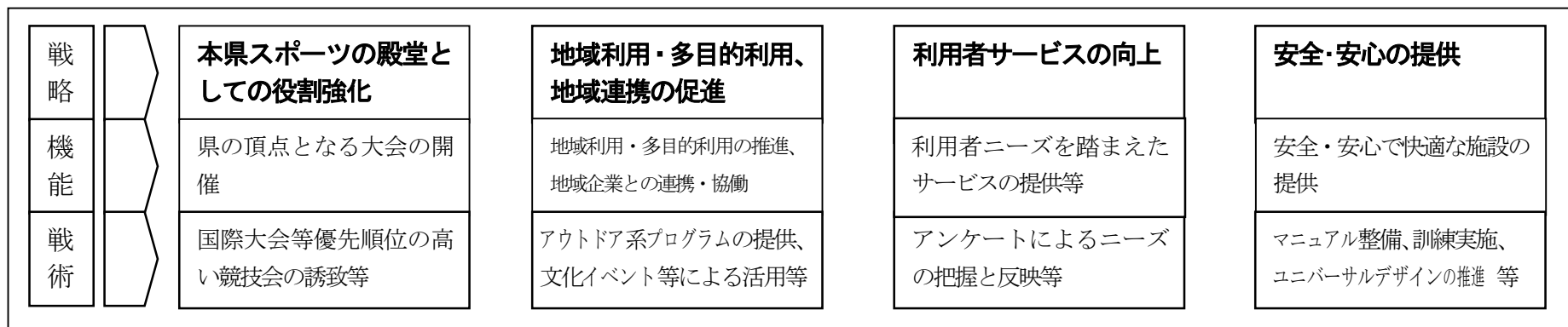
- エコスタジアム、エコアリーナ…「本県スポーツの**主役**」として、**東海地区や県の代表的スポーツ競技の開催を誘致**するとともに、コンサートをはじめとする大規模文化イベント会場としての利用も図る。
- 芝生広場、園地等……………県民の健康増進やレクリエーションの場を提供する。
- 森林エリア……………小笠山の豊かな自然との触れ合いを楽しむ機会を提供する。



<経営努力目標:2028年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:**112万人**(うち有料公園施設利用者数**97.6万人**)
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点) :**4.4**
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開



③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 本県スポーツの殿堂としての 役割強化	県の頂点となる大会の開催（国際大会、 全国大会、県大会等）	アジア大会 2026 サッカー会場など
		国際大会、全日本選手権大会等優先順位の高い競技会の誘致
		県選手権大会等定番大会・イベント等の開催 （生涯スポーツ、パラスポーツの推進）
戦略2 地域利用・多目的利用、 地域連携の促進	地域利用・多目的利用の推進	健康福祉・生涯スポーツの利用の促進、アウトドア系プログラムの提供 （パラスポーツも推進）
		文化イベント等による活用
		自然・環境学習や遠足の場としての利用促進
	地域・企業との連携・協働	ボランティア活動への場の提供とボランティアの公園運営への積極的活用 行政・教育機関・民間、周辺施設等との連携・協働(冠イベント等の誘致)
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 （利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の増加）
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	公園の魅力発信とイベント情報の提供（新たな広報手段等も活用）
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心の提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を優先した施設の維持管理
		長寿命化の観点からの維持補修
		マニュアル整備、研修・訓練の実施、防災拠点であることの周知及び機能の確保
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、 インクルーシブ（多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる）な 空間の創出

(6) 吉田公園

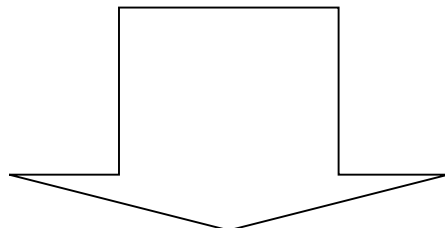
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

花や緑に親しみながらレクリエーションや憩いの場として、誰もが安心して利用できる場を目指し、新しいスタイルの県民参加の公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

- 志太・榛原地域における憩いの場として位置づける。
- 身近な花や緑に親しみ、気軽に園芸を学び参加できる場を提供する。
- 県民参加による公園の管理運営の場とする。

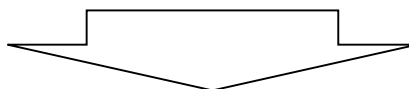


<経営努力目標:2028年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:16.8万人
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点):4.5
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開

戦略	機能	戦術	花や緑との交流を楽しむ機会の提供	地域利用・地域連携の促進	利用者サービスの向上	安全・安心の提供
			花や緑に親しむ機会の提供	地域住民の利用促進、地域との連携・協働	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供等	安全・安心で快適な施設の提供
			園内の各エリアの特色を生かした緑地空間を提供等	地域イベントの誘致・開催、ボランティアの積極的活用等	アンケートによるニーズの把握と反映等	マニュアル整備、訓練実施、ユニバーサルデザインの推進等



利用の増進	利用者満足度の向上	効果的、効率的な運営	安全・安心の確保
-------	-----------	------------	----------

③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 花や緑との交流を楽しむ 機会の提供	花や緑に親しむ機会の提供	園内の各エリアの特色を生かした緑地空間を提供
		花や緑に親しむイベント・プログラムを提供
戦略2 地域利用、地域連携の促進	地域住民の利用促進	地域イベントの誘致・開催
	地域との連携・協働	ボランティア活動への場の提供とボランティアの公園運営への積極的活用
		行政・教育機関・民間、周辺施設等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の増加)
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	公園の魅力発信とイベント情報の提供 (新たな広報手段等も活用)
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心の提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を優先した施設の維持管理
		長寿命化の観点からの維持補修
		マニュアル整備、研修・訓練の実施
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、 インクルーシブ (多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる) な 空間の創出

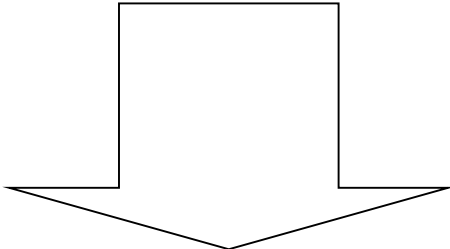
(7) 浜名湖ガーデンパーク

① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>
 浜名湖の恵まれた水辺環境や景観を生かし、多様なレクリエーションの場を提供するとともに、浜名湖花博の資産を継承し、園芸や庭園等の文化の国内外に向けた発信・活動の場となる公園として、幅広い世代に愛される公園を目指す。

<役割・位置づけ>

- 多彩な花・緑・水・庭と触れ合う、憩い・やすらぎの場を提供し、花と緑のある暮らしの素晴らしさを伝える。
- 幅広い世代が楽しめるレクリエーションや人々の交流の場を提供する。
- 浜名湖周辺地域の魅力の発信の場としての役割を果たす。
- 県民参加による公園の管理運営の場とする。



<経営努力目標:2028年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数: **143万人**
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点) : **4.5**
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開

戦略	機能	戦術	浜名湖畔の特色を生かした公園の魅力づくり	地域利用・多目的利用、地域連携の促進	利用者サービスの向上	安全・安心の提供
			憩いの場として、多彩な花・緑との出会いの場を提供	多様なレクリエーションの場の提供、地域との連携・協働	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供等	安全・安心で快適な施設の提供
			質の高い特徴的な花壇、庭、樹林などの景観の創出等	地域イベントの誘致、ボランティアの積極的活用等	アンケートによるニーズの把握と反映等	マニュアル整備、訓練実施、ユニバーサルデザインの推進等



利用の増進 利用者満足度の向上 効果的、効率的な運営 安全・安心の確保

③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 浜名湖畔の特色を生かした 公園の魅力づくり	憩いの場として、多彩な花・緑との 出会いの場を提供	質の高い特徴的な花壇、庭、樹林や浜名湖畔の情景による良好な景観の創出
		個性的な魅力づくりを推進するための園芸・庭園に関するプログラムの提供
戦略2 地域利用・多目的利用、 地域連携の促進	多様なレクリエーションの場の提供	地域イベントの誘致・健康プログラムの提供
		緑豊かな公園の環境を生かした自然学習プログラムの提供
	地域との連携・協働	ボランティア活動への場の提供とボランティアの公園運営への積極的活用
		行政・教育機関・地元自治会、周辺施設及び地元NPO等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の増加)
		浜名湖花博2024から継承するサービスの提供・活用
	公園の魅力の広報	公園の魅力発信とイベント情報の提供(新たな広報手段等も活用)
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心の提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を優先した施設の維持管理
		長寿命化の観点からの維持補修
		マニュアル整備、研修・訓練の実施
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、 インクルーシブ(多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる)な 空間の創出